

復活節第四主日

2017.5.7.

使徒言行録 2・14a、36-41

一ペトロ 2・20b-25

ヨハネ 10・1-10

ガエタノ・コンプリ神父（サレジオ会）

今読まれた聖書の中に、今日の日曜日の大事なメッセージが含まれています。イエスは良き牧者であるということ、わたしたちを導いてくださる方、わたしたちを養ってくださる方であることを教えています。先日わたしは聖地イスラエルのほう、イエス様の国の巡礼を行ってきたばかりです。そこでよく、砂漠、荒れ地を歩いて羊飼いが羊を導いている場面が見られました。羊飼いはいつも先頭に立って行くのです。羊はついて行くという習性を持っています。ですから、草のある良いところを探して、羊飼いはそこに羊を導いて、羊が草を喰んで豊かに命を養うことができるようになっています。イエス様はその場面から自分の役割を説明してくださっています。

わたしたちは、命が育つために栄養が必要です。命というのは、体の命ということもあります。そのためにわたしたちは毎日食事をします。それは普通は忘れないことですね。しかし、皆さん、心の命もあるのです。「人間はパンによってのみ生きるのではない」と聖書は言っています。すなわち、神のこぼれによって、もっと広く言えば、考え方によって生きるのです。今の世の中は、わたしたちは一つの悲しい現象を見ています。人々があまり考えない。考える暇がない。忙しくて、忙しくて、「仕事、仕事、仕事」と、「勉強、勉強、勉強」と、「学ばないといけない、学ばないといけない」。けれども、知識を学ぶだけで、なんのためにそれを学ぶのか考えない。まあ、試験のためです。試験にパスしないと行けない。仕事は、会社のために、会社が儲かるように、自分もお金が儲かるように働かないといけない。忙しい、忙しい。疲れて戻ってきて、

朝早くまた起きて出かける。なんのためにそのことをしているか、考えません。考え方が浅い。そのために、定年になって会社をやめて、がっかりします。仕事がなく、何をするか、分からない。なんのために生きるか。まあ、一応お金があつて、保障されています。保険もある、年金もある、食事もある、家もある。けれども、何をするんですか？ なんのためにですか？ 孤独で生きる人がたくさんいます。心の栄養がない。考え方がない。

今日のペトロの手紙の中にこのことばが最後に出ています。「あなたがたは羊のようにさまよっていましたが、今は、魂の牧者であり、監督者である方のところへ戻って来たのです」(一ペトロ 2・25)。わたしたちは魂の牧者であるキリストのところへ戻って来ています。教会へ来て、自分の信仰を育てて、なんのために生きるかということがわかっています。皆さんは信仰があつて幸せです。信仰がない人たち、世の中の姿を見て、かわいそうだなあと思うんです。イエス様も、牧者のない羊のように人々がさまよっているのをご覧になってあわれんだと書いてあります。かわいそう。そうです。たくさんの人、本当にかわいそうです。最後は、場合によっては、なんのために生きるのか分からなくなって自分の命を捨てる人もたくさんいます。本当にかわいそう。心の栄養がない。

イエズス様は今日の話の中で最後はこうおっしゃっています。「わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである」(ヨハネ 10・10b)。命があるように。この地上に生きる時、ちゃんと自分の生きる目的がわかって、生きがいをもって生きるように、命があるように。この地上で。わたしたちは信仰をもっていて幸せです。命があるんです。生きがいがあるんです、よく分かっていればね。信者でもよく分からないときが場合によってあるかもしれませんよ。でも、一応どこに探せば良いか分かっていますよ。もっと探さないといけません。

しかも、イエズス様はおっしゃいます。「命があるように、しかも豊かな命が

あるように」。豊かな命。わたしたちはこの地上での命だけではなく、永遠の命があります。本当に豊かな命を神様から頂きます。永遠の命。もしわたしたちがこのように一所懸命にやって、死ぬときに後はなんにもないことになったら、皆さん、どうなりますか。つまらない、面白くないですね。やっぱり、後がある、永遠の命がある。その永遠の命がある証拠は、イエズス様が復活されたことです。今ちょうど復活節です。この前に復活祭がありましたね。イエズス様は復活されました。復活されたから、わたしたちもイエス様と一緒に復活することができる。すなわち、死んでも、永遠に生きることが出来ます。ちゃんとそうなっていますよ。わたしたちは、永遠の命を信じます。豊かな命を信じています。この地上も生きがいがあって、その後もあります。皆さん、これはわたしたちの幸せです。このことを確信している。確かにそうなっています。イエズス様が復活されたのですから。

イエズス様が十字架にかけられたことを信じるのは簡単です。みんなだって死にますから。イエズス様も死んだのは当たり前。十字架でかわいそうでしたけれども、一応死んだ。しかし、死んだだけだったら救われませんよ。復活されましたよ。実は、このミサの後、皆さんに驚く話をいたします。聖骸布をご紹介します。実物大の聖骸布のレプリカ、すなわちそのままの大きさの写真。しかも、不思議なことがいっぱいある。そのことを説明します。それを聞いたら、本当にイエズス様は復活されたな、とお分かりになると思います。わたしたちはイエズス様と一緒に復活します。永遠の命、豊かな命があります。イエズス様がそれを与えてくださる。今日、良き牧者であるイエズスに、先頭に立って歩いていらっしゃるイエズス様に私たちもついて行って、豊かな命をもらうように願いましょう。